



必要な工具 手回しプラスドライバー、電動ドリル(φ3)

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害、軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本体脱落の原因になりますので、下記事項をお守りください。
 - ・本体を吊り込んだ後、本体側上丁番の軸を必ず下げて、本体が外れないことを確認してください。
 - ・建付け調整(丁番による調整)時、枠側丁番の固定ねじは必ずゆるみ・ガタツキがないように締付けてください。

■取付け上のお願い

●丁番のねじ締付けおよび建付け調整の際は、手回しドライバーを使用してください。
電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。

■対象となるドア丁番

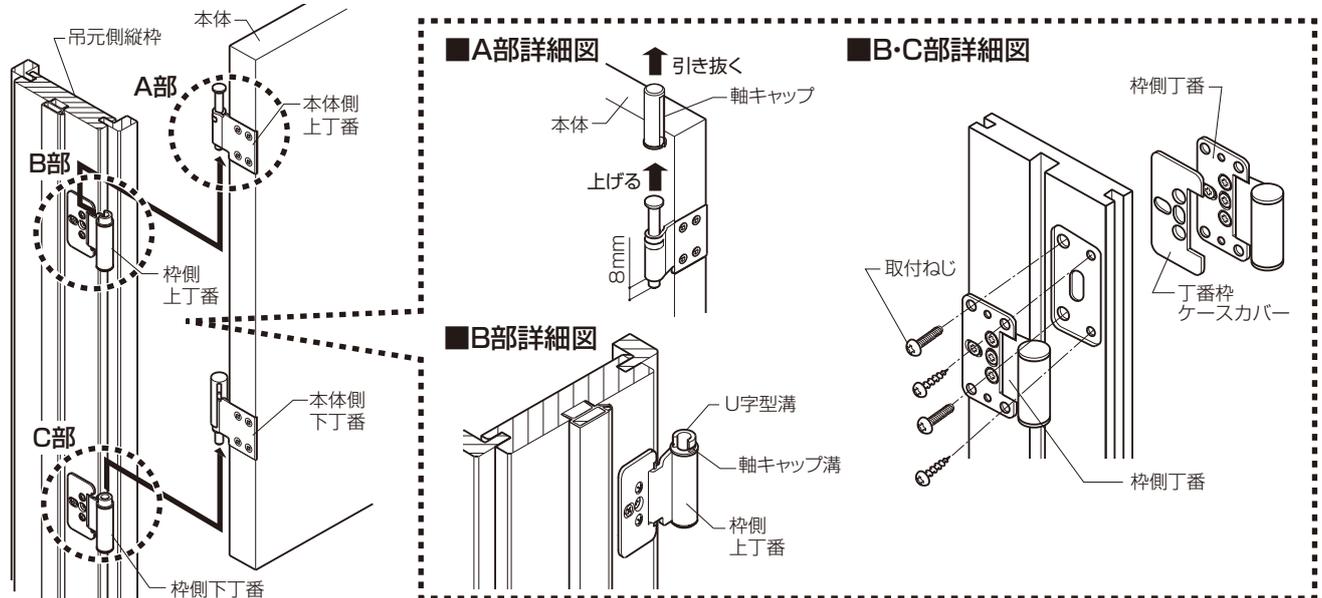
商品シリーズ	色：□	部品コード	部品名称	ドア1枚分の必要数	付属ねじ
04/9~18/3 WLシリーズ	G:サテンゴールド Y:ファインシルバー	MDT□43FL	上丁番L用	各1 ※左吊の場合	皿タッピンねじφ4×20：8本(予備2本)
		MDT□44FL	下丁番L用		皿タッピンねじφ4×20：8本(予備2本)
05/4~18/3 FLシリーズ	C:シャインニッケル T:アイアンブラック	MDT□43FR	上丁番R用	各1 ※右吊の場合	皿タッピンねじφ4×20：8本(予備2本)
		MDT□44FR	下丁番R用		皿タッピンねじφ4×20：8本(予備2本)

※WLB、GL、FL、ALドア丁番(MDJ05/106、196/197)の代替として上記部品を使用する場合は、別途トラスタッピンねじφ4×60、なべ小ねじM4×14：各4本が必要です。また、**1**「枠側丁番の交換」方法が異なりますのでご注意ください。

■交換手順

1 本体、および枠側丁番の取外し

- ①上丁番の軸キャップを上引き抜きます。(A部)
- ②本体側上丁番の軸を止まるまで上げます。(A部)
※軸は8mm程残した位置で止まります。
- ③本体側上丁番の軸を枠側上丁番のU字型溝から抜き出します。(B部)
- ④本体を持ち上げ、枠側下丁番から本体側下丁番を抜き出します。
- ⑤枠側丁番から丁番枠ケースカバーを取り外します。
- ⑥手回しプラスドライバーで取付ねじを緩め枠側丁番を取り外します。



2 本体側丁番の交換

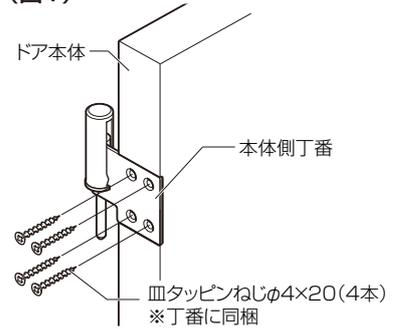
①手回しプラスドライバーでドア本体から丁番を取外します。

(図1)

②丁番を交換し、手回しプラスドライバーでねじ留めします。

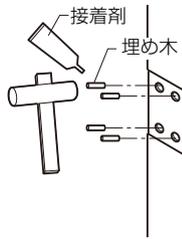
※ねじが空回りする場合は、必ずねじ穴に埋め木をし、ねじの保持力を高めてください。

(図1)



■埋め木の取付け方

- ①埋め木に接着剤を付けてください。
- ②ねじ穴に埋め木を入れてください。
- ③埋め木がねじ穴からはみ出る場合は、カッターで削ってください。



●お願い

※丁番のねじ締付けの際は、手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。

3 枠側丁番の交換

【同じ種類の丁番と交換する場合】

※シリーズにより 枠側丁番の取り付けねじの種類が異なります。取り外したものと種類が異なるねじを使用しないでください。

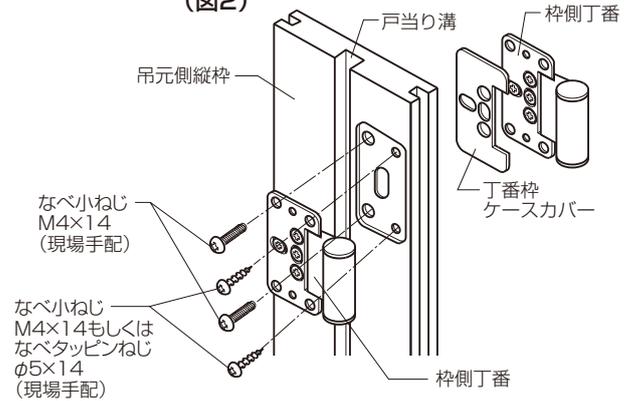
①枠側丁番を交換し、手回しプラスドライバーでねじ留めします。A、Bを最初に締め、丁番座が傾かないようにC、Dを締付けてください。(図3)

※なべタッピンねじが空回りする場合は、必ずねじ穴に埋め木をし、ねじの保持力を高めてください。

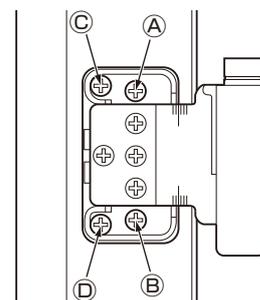
※なべ小ねじのねじ穴には枠の裏側から鬼目ナットが入っているため、ねじが空回りすることがなく埋め木は必要ありません。

②枠側丁番に丁番枠ケースカバーを取付けます。(図2)

(図2)

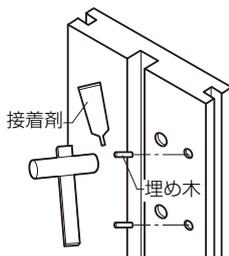


(図3)



■埋め木の取付け方

- ①埋め木に接着剤を付けてください。
- ②ねじ穴に埋め木を入れてください。
- ③埋め木がねじ穴からはみ出る場合は、カッターで削ってください。

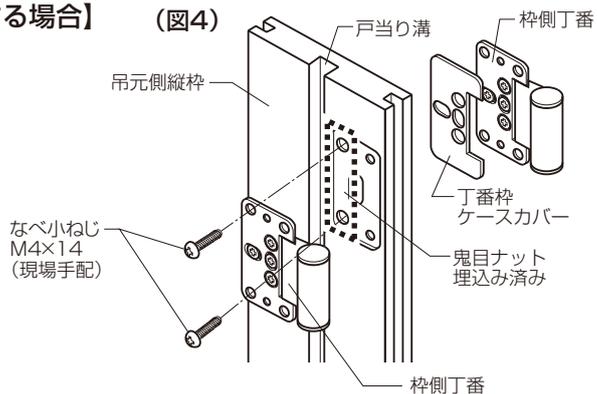


●お願い

※丁番のねじ締付けの際は、手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。

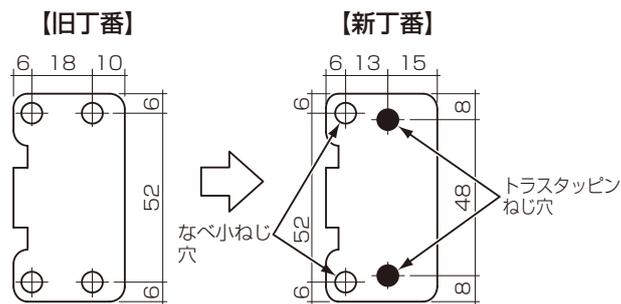
【異なる種類の丁番(枠側丁番の取付け穴位置が異なる)と交換する場合】

- ①新しい枠側丁番に合わせて、電動ドリルで吊元側縦枠にφ3深さ60mmのトラスタッピンねじ用の下穴を開けます。(図5)
 ※枠の種類によってねじを締込む方向が異なりますので、同様に下穴を開けてください。(図6)
- ケーシング付き枠：躯体へまっすぐに締めます。
 - ノンケーシング枠：躯体へ向けて斜め(約20°)に締めます。
 - 非木造用枠：躯体へ向けて斜め(約20°)に締めます。
- ②枠側丁番を交換し、手回しプラスドライバーで先に戸当り溝側のみなべ小ねじを締付けます。(図4)



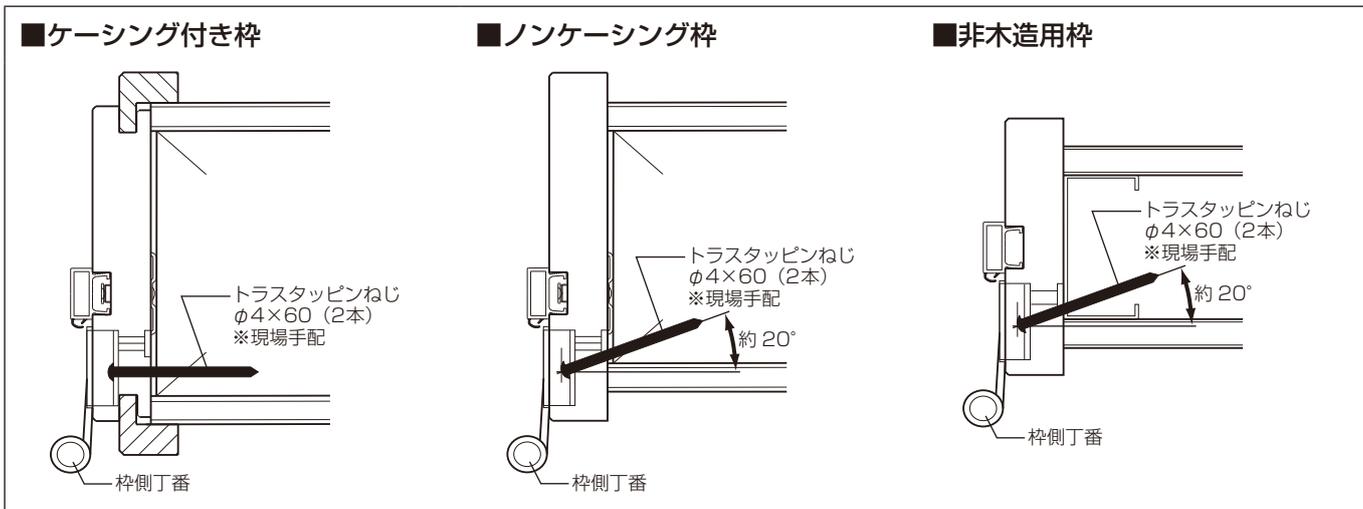
- ③躯体に向けてトラスタッピンねじを締めます。
 ※確実にねじが躯体にかかるようにしてください。(図6)
- ④枠側丁番に丁番枠ケースカバーを取付けます。(図4)

(図5)



※トラスタッピンねじ穴の位置が異なります。
 みなべ小ねじ穴の位置は同じです。

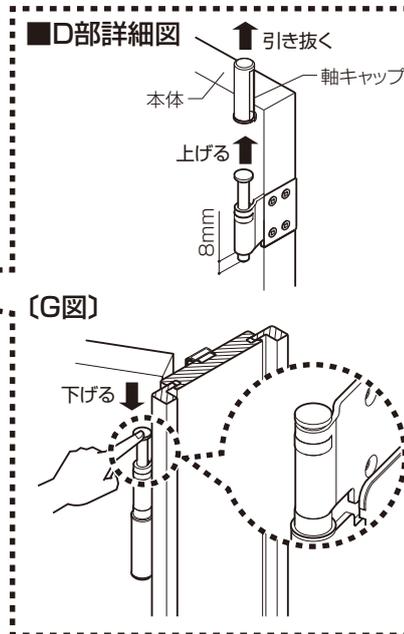
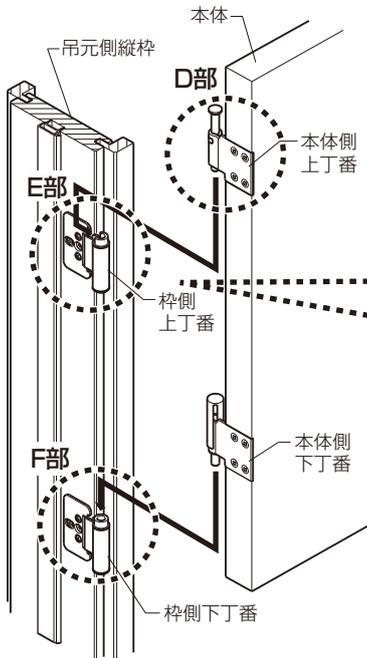
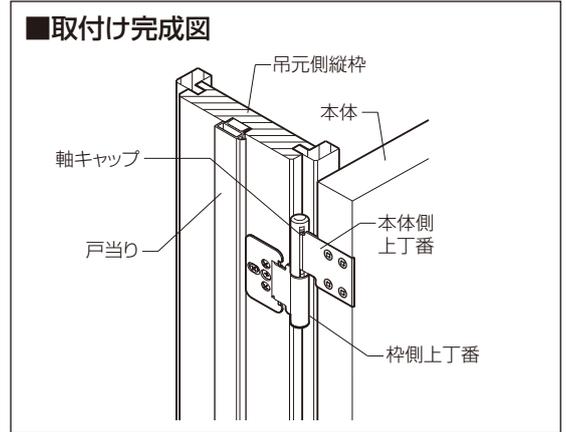
(図6)



お願い
 ※丁番のねじ締付けの際は、手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。

4 本体の吊込み

- ①下丁番軸キャップを上げます。
- ②上丁番軸キャップを上引き抜きます。
- ③本体側上丁番の軸を止まるまで上げます。(D部)
※軸は8mm程残した位置で止まります。
- ④本体側下丁番を枠側下丁番に差込みます。(F部)
※本体側下丁番の軸を垂直に差込んでください。
- ⑤本体側上丁番の軸を枠側上丁番のU字型溝にはめ込み、
本体を吊込みます。(E部)
- ⑥本体側上丁番軸を止まるまで下げてください。(G図)
- ⑦上丁番軸キャップを取付けます。
※枠側上丁番の軸キャップ溝にはめ込んでください。
- ⑧下丁番軸キャップを下げます。
※枠側下丁番の軸キャップ溝にはめ込んでください。
- ⑨本体側上丁番の軸が下がっていることを確認してください。



▲注意

- 本体脱落の原因になりますので、下記事項をお守りください。
 - ・本体を吊り込んだ後、本体側上丁番の軸を必ず下げて、本体が外れないことを確認してください。
 - ・建付け調整(丁番による調整)時、枠側丁番の固定ねじは必ずゆるみ・ガタツキがないように締付けてください。

■建付け調整(丁番による調整)

※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。
 ※電動ドライバーは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。

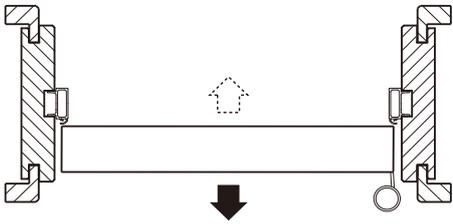


上下の調整	不具合例	調整方法	不具合例	調整方法
<p>●本体側下丁番で調整します。</p> <p>●調整幅は、上側に3mm、下側に3mmです。</p>	<p>1. ドアの上部が枠に当たる。</p>	<p>①本体側下丁番のキャップを外す。</p> <p>②上下調整ねじを左に回しドアを下げて位置を決める。</p> <p>③キャップをはめる。</p>	<p>2. ドアの下部が枠に当たる。</p>	<p>①本体側下丁番のキャップを外す。</p> <p>②上下調整ねじを右に回しドアを下げて位置を決める。</p> <p>③キャップをはめる。</p>

左右の調整	不具合例	調整方法	不具合例	調整方法
<p>●枠側上丁番および枠側下丁番の両方で調整します。</p> <p>●調整幅は、吊元側に1.5mm、開き側に1.5mmです。</p>	<p>1. ドア開き側が枠に当たる。</p>	<p>①固定ねじをゆるめる。</p> <p>②左右調整ねじを右に回してドアを吊元側に移動し位置を決める。</p> <p>③固定ねじを締める。</p> <p>④固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。</p>	<p>2. ドアの開き側のすき間が大きすぎる。</p>	<p>①固定ねじをゆるめる。</p> <p>②左右調整ねじを左に回してドアを開き側に移動し位置を決める。</p> <p>③固定ねじを締める。</p> <p>④固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。</p>

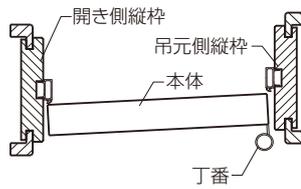
前後の調整

- 枠側上丁番および枠側下丁番の両方で調整します。
- 調整幅は、前(3mm)、後(1mm)です。



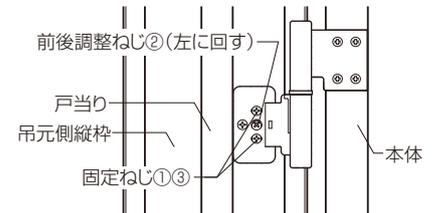
不具合例

1. 開き側の枠が前に出ている。



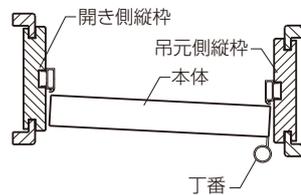
調整方法

- ① 固定ねじをゆるめる。
- ② 前後調整ねじを左に回してドアを前に移動させる。
- ③ 固定ねじを締める。
- ④ 固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。



不具合例

2. 吊元側の枠が前に出ている。



調整方法

- ① 固定ねじをゆるめる。
- ② 前後調整ねじを右に回してドアを後に移動させる。
- ③ 固定ねじを締める。
- ④ 固定ねじが必ず締まっていることを確認してください。

